

令和 8 年度におい・かおり環境協会賞

公益社団法人 におい・かおり環境協会
表彰委員長 樋口能士

令和 8 度の表彰者は、運営検討会議、編集委員会、技術賞選考部会及び文化賞選考部会からの推薦をいただいた者について、表彰委員会で審議のうえ候補者を選定し、理事会にて表彰者を決定いたしました。

功労賞

本協会の発展に貢献もしくはにおい・かおりに関する分野において特に優れた功績を認められた個人に贈呈することとし、受賞対象者は 50 歳以上の者とする。

伊藤 英武 氏（悪臭・廃水対策相談所 代表、臭気判定士会 監事）

〔受賞理由〕

伊藤英武氏は 2002 年以降、当協会理事（2 年）、常務理事（4 年）、顧問（2 年）の要職を歴任した。また、臭気対策アドバイザーとしても登録・活動し、多年にわたり協会運営の発展に貢献した。その後は臭気判定士会の事務局として臭気対策分野において多くの功績を残しており、功労賞に値する。

学術賞

におい・かおりに関する一連の論文、著作等、学術的研究成果が特に優れた個人に贈呈する。

該当無し

技術賞

におい・かおりに関する調査、分析又はにおい対策技術、かおり活用技術等に関して顕著な貢献があったと認められた個人、法人、団体・グループに贈呈する。

株式会社アース・コーポレーション 長野支店、祐川臭気コンサルタント事務所

〔受賞理由〕

アース・コーポレーション長野支店は山の裾野にあり、食品廃棄物などの堆肥化を行っている。事業では発酵槽で薬液脱臭が行われているが、建屋から漏れる臭気もあり、長年近隣から多くの苦情があった。その対策として、臭気の拡散過程を発煙筒を用いて「見える化」した上で、建物の密閉化し、臭気拡散ファンや消臭剤噴霧装置を設置した。さらにニオイセンサによるモニタリングとファン・噴霧装置の稼働制御を行うことで、苦情低減に顕著な効果をあげ、現在も継続して維持管理されている。これら一連の対策は、祐川臭気コンサルタント事務所の指導・協力のもとで実施され、多様な技術の組み合わせで達成された抜本的、持続的な臭気対策として非常に示唆に富んだ成果であり、技術賞に値する。

奨励賞

におい・かおりに関する研究業績が、独創的又は萌芽的であり将来性に富むと認められた個人に贈呈することとし、受賞対象者は40歳以下の者とする。

平間 宏忠 氏 (国立研究開発法人 産業技術総合研究所 主任研究員)

〔受賞理由〕

平間宏忠氏は、におい・かおりに関する物理的・心理的特性の解明と応用において、独創的かつ実用性の高い研究を展開してきた。香気成分の保持性や放出制御に関し、マイクロ流体技術を応用したO/W/O型マイクロカプセル生成法を開発し、分散工程を要せずに香料を高効率かつ単分散で封入することに成功した。また、香料の物性評価では、ナノ構造シリカ膜を修飾したQCMセンサを用い、吸着・脱着挙動から蒸気圧を迅速に推定する手法を確立し、測定時間と試料量を大幅に削減した。さらに、嗅覚感情の文化的特性に関しては、国際的なEmotion and Odor Scale (EOS)を日本語化し、J-GEOSとして体系化し、日本人特有の嗅覚感情構造を明らかにした。これらの研究は、香料の設計・評価・応用に新たな技術的基盤を提供するものであり、学術的にも産業的にも高く評価される。

土屋 貴嗣 氏 (サントリーグローバルイノベーションセンター株式会社 課長)

〔受賞理由〕

土屋貴嗣氏は、食品・飲料の「香り価値」を製造現場で再現可能プロセス設計へ落とし込む先進的な研究を行っている。コーヒーオイルへの水添加に伴う香気変化機構から、提供・加工条件が香り立ちを左右する要因を科学的に明らかにした。抹茶系容器詰飲料における難水溶性成分由来の粗大粒子/粘着性沈殿の形成抑制など、ものづくりと香気研究の両面で特許レベルの検討を重ねることで、品質安定化に貢献している。また、健康分野で、赤ワインポリフェノール(OPC)の皮膚効果をランダム化比較試験で検証、成分同定やAQP3発現促進といった作用機構を明らかにし、博士号を取得した。さらに2016年の8th International Conference on Polyphenols and Healthにおいて、赤ワインポリフェノールの皮膚効果(RCT)についても国際発信を行った。健康・ものづくり・香気研究を横断する専門性と、学術と産業の橋渡しとしてその将来性が高く評価される。

文化賞

良好なにおい・かおり環境の創造や、かおり文化の普及などに顕著な貢献があったと認められた個人、法人、団体・グループに贈呈する。

高砂香料工業株式会社

〔受賞理由〕

高砂香料工業株式会社は、宮内庁正倉院事務所主催による「正倉院 THE SHOW」において、史上初となる「蘭奢待」の香りを、成分分析などの詳細な科学調査により再現し、大阪および東京で開催された展示会にて公開した。これまで歴史上の人物や香道の特別な法要などに限られた貴重な機会を、広く一般にも体験させることができた意義は大きく、かおり文化の普及に貢献したものと考えられ文化賞に値する。

グッドプラクティス賞

臭気対策の優良事例やにおい・かおりによるまちづくり事例など、具体的な実践例により社会貢献があったと認められた個人、法人、団体・グループに贈呈する。

三生医薬株式会社

〔受賞理由〕

三生医薬株式会社は香料入りカプセル製造工場から発生するフルーティー臭について、地域環境への配慮を最優先に臭気対策を実践した。対象臭気の臭気指数・寄与成分についての調査、また複数方式によるフィールド脱臭試験を行った結果をもとに、効果・持続性・実用性を総合評価して蓄熱燃焼式脱臭装置を選択し、脱臭後に 15mの高さから大気拡散させる排気筒とともに設置した。その結果、7分割した敷地境界地点において、いずれも風下条件で臭気指数 10未満という厳しい自主管理目標を達成した。さらに脱臭装置の排気熱を空調に有効利用して大幅な省エネルギーと CO₂削減を行うなど、地域調和と環境負荷削減の両立を実現した。この成果は、臭気対策における合理的な計画・実施事例としてグッドプラクティス賞に値する。

一般社団法人日本建設業連合会空気質対策情報連絡会

〔受賞理由〕

建設業界においては、新築時あるいは改修工事後に室内臭気に関するクレーム、相談を受けることがあるが、建材、家具、什器といった材料からの臭気に関する情報は十分ではなく、各社独自に対応をしていた。本団体は、各社が保有している情報の共有を臭気対策の有用なツールとすべく、臭気対策事例集を作成し、これを団体内での利用にとどまらず Web 上での公開で広く一般に利用可能とした。本事例集は、悪臭防止法では被害者保護が担保されない室内臭気問題を扱うものであり、臭気による被害を受ける居住者、対策を講じる事業者の双方にとって非常に有益な情報となっている。実際に、ホームページに 1500 件/年程度のアクセスがあり、臭気対策情報の模範的な共有事例としてグッドプラクティス賞に値する。

在籍表彰

長年協会の活動を支援してこられた会員に感謝の意を表するため、通算 30 年以上在籍した個人会員または法人会員に贈呈する。なお、個人会員の永年在籍表彰受賞者は 70 歳になった年度の翌年度から会費の納入を免除される。

今年度の表彰者は、以下のとおり営利法人会員 10 社、個人会員 5 名となります。

会員区分	会員名（入会日順・敬称略）
営利法人会員	エヌエス環境株式会社
	コーヨー株式会社
	クレハサービス株式会社
	三協熱研株式会社
	株式会社サンコー分析センター
	株式会社理研分析センター
	古川熱学エンジニアリング株式会社
	日鉄環境株式会社
	会員名非公表 2 会員
	個人会員
中村 裕二	
兵頭 誠	
佐久間 健一	
会員名非公表 1 会員	